

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 ふらの地区

1. 事業の概要（案）

本事業は、野菜生産供給基地の確立を目指し、畑地かんがい用水を確保するため、東郷ダムの改修を行うとともに、中富良野町の畑に用水施設を新設するものである。

◆受益面積 2,713ha

◆主要工事計画(案) ダム：1箇所（部分改修：洪水吐等の改修）
揚水機：1箇所（施工済み）用水路：2条L=8.4km（施工済み）

2. 地域の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

○大雪山国立公園等を有し、雄大な景観とさまざまな野生動植物が息づく豊かな自然環境に囲まれている。これらの自然環境は彩り鮮やかに広がる農地と一体的に田園景観を形成している。

（富良野市田園環境整備マスタープランより）

○大雪山国立公園の十勝岳連峰の近傍に位置し、雄大な景観とさまざまな野生動植物が息づく豊かな自然環境に囲まれている。これらの自然環境は農地とともに農村景観を形作る要素となっている。

（中富良野町田園環境整備マスタープランより）

《課題》

○農地や森林などの自然資源の積極的な保全と回復を行い、人と自然が共生できるまちづくりを進めることが重要である。一方農村部の半自然（二次的自然）に対する価値意識が低下しており、生態系を含めた多種多様な保全活動が必要である。

（富良野市田園環境整備マスタープランより）

○町では、クリーン農業への取組がなされており、自然環境や景観などの地域資源の保全に対する機運が高まっており、総合的な環境保全対策が必要となっている。

（中富良野町田園環境整備マスタープランより）

◆環境保全の基本的な考え方

○森林・農地の保全、魅力ある景観の創出の2つを基本方針にかかげ、豊かな「農村景観」形成の達成をめざすものとする。

（富良野市田園整備マスタープランより）

○「ともに創るしあわせ大地クリーン・グリーンなかふらの」を望ましい環境像とし、自然・環境・地域を守るまちづくり、元気な産業・クリーングリーンのまちづくりを計画目標とする。

（中富良野町田園整備マスタープランより）

3. 環境との調和への配慮

◆配慮方針

本地区においては、本地域の自然環境を踏まえ、富良野市及び中富良野町の田園環境整備マスタープランとの整合を図り、動植物の生育・生息環境の保全を図るほか、農村景観に配慮した整備を進める。

◆取組内容

I. 生物の生育・生息環境の保全

①工事期間中の濁水等の流出抑制

濁水処理施設を設置し、濁水等の外部への流出を抑制。

II. 地域景観の保全

②コンクリート構造物の地中化（実施済み）

コンクリート構造物の地中化を行い、景観に配慮。